©中日新聞社 2018 （日刊）

中日新聞
夕刊
発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811
2018年（平成30年）
5月1日（火）

LGBT「職」支援

「ありのまま」社会復帰後押し

守山 作業施設オープン

性同一性障害などから心身に不調をきたした人の社会復帰を後押しする就労支援施設が、名古屋市守山区にオープンした。性的少数者（LGBT）の中には周囲の理解が得られず、うつ病や引きこもりになる人がいる。二〇一五年八月からこうしたLGBTを対象にしたグループホームを運営してきた同市の一般社団法人「虹望会」は「住の次は職の支援が必要」と意気込む。（塚田真裕）

施設名は「レインボーワークス」で、四月二日に開所した。施設は鉄骨造り二階建てで、一階の七十五平方メートルにゴルフの室内練習場四ブースを備える。二階にはおもちゃの袋詰めなど授産品を作る作業スペースがあり、利用者はどちらでも働ける。

会は全国に先駆け、職員が常駐して食事や洗濯、掃除など日常生活を支援するLGBT向けのグループホームを運営してきた。現在市内に八カ所あり、定員三十人の枠はほぼ満員だ。職員のほぼ全員がLGBTという安心感もあり、全国から入居を希望する人がいるという。

会の設立メンバーで職業指導員の金丸ユウジさん（四〇）も女性として生まれ、〇四年に性別適合手術を受けて戸籍上の性別を男性に変えた。「当事者だから分かることがある」と悩みを聞いてきた。その中で社会復帰の課題として浮かび上がってきたのが、生活リズムの乱れだ。

入居者の中には、長い間引きこもっていたり、昼夜逆転の生活を送っていたりする人もいる。日中に活動する場を提供しようと、就労支援施設の開所に踏み切った。

ゴルフ練習場にしたのは、人と接しながら働けるためだ。定員は二十人で現在、会が運営するグループホームの入居者三人とその他の三人が勤務している。施設は負担が軽い仕事から自信を付けてもらう「就労継続支援B型事業所」。市町村の担当窓口に相談し、障害福祉サービス受給者証を取得すれば、LGBT以外の人も受け入れる。

金丸さんは「取りあえずここに来るだけでもいいので、一歩を踏み出してもらえれば」と話す。

練習場は一般向けに「ひょうたん山えきまえゴルフ」と名付けた。名鉄瀬戸線瓢箪山駅の二十メートル北側にある。五十分五百円から利用できる。問い合わせはレインボーワークス＝052（715）4778＝へ。

上 先月開所した「ひょうたん山えきまえゴルフ」で職業指導員の金丸ユウジさん（右）と話しながら、ゴルフ練習場の仕事を覚える加藤光喜さん
下 開所した就労支援施設「レインボーワークス」＝いずれも名古屋市守山区で（太田朗子撮影）

通所者「相談できる人 できた」

「親には、ありのままでいい、と受け止めてほしかった」。レインボーワークスで開所時から働く愛知県出身の加藤光喜さん（三）は、周囲に性同一性障害であることを理解されず苦しんできた。

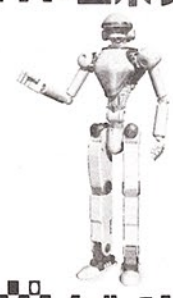
小学五年のころ、女性であることへの違和感に気づいた。女子と同じ更衣室やトイレなのが嫌だった。だが「女の子らしくしなさい」と求める両親には相談できなかった。学校ではいじめを受け、中学二年の時には「死のう」と自宅二階から飛び降りたこともある。

高校生になって初めて心療内科で、性同一性障害と診断された。うつ病も発症し、障害者への理解のない両親には隠れて通院した。初めて両親に性同一性障害を伝えたのは、高校卒業前の進路相談の時。「何でそんなことを言うの」と頭ごなしに怒られた。今でも両親の理解は得られていない。

高校卒業後、一般企業でも働いたが長続きしなかった。今年二月に虹望会を知り「戸籍の変え方などようやく相談できる人ができた」と安心したという。レインボーワークスで働いて一カ月。「雰囲気も良くて、心も安定している」と前を向く。今の目標は体調を回復させ、以前していた自転車の修理の仕事に戻ることだ。

宝塚大看護学部の日高庸晴教授（社会疫学）が二〇一六年にインターネット上で、性的少数者約一万五千人を対象に、気分の落ち込みや不眠などで心療内科などに通ったことがあるかを尋ねるアンケートをしたところ、32％が「ある」と回答。〇一年の別の調査では、自殺しようとしたことがあると答えた同性愛者・両性愛者の男性の割合は、異性愛の男性の約六倍に上った。

日高教授は、悩みを打ち明けられないことが要因の一つとみており「ありのままを話しても受け入れられないのではとの不安から相談できないケースが多い。性的少数者に対応できない福祉機関が多い中、虹望会の取り組みは貴重だ」と話す。

FA&ロボット

ダイドー
本社 名古屋市中村区名駅4-12-19 ☎(052)533-6722(代)
東京 ☎(03)3676-9111(代)
大阪 ☎(06)6581-1161(代)

スマホで便利
中日新聞プラス
登録のお問い合わせは
052-990-2731

きょうの紙面

屋根裏
泳ぎ→バイク→電車 11
イスラエル「イランが核開発」主張 3
世界卓球 日本男子 1次L初黒星 5
強制わいせつ 山口メンバー 起訴猶予 10

板門店の米朝会談意欲

トランプ氏「文氏に話した」

【ワシントン＝石川智規】トランプ米大統領は四月三十日午後（日本時間五月一日未明）、米朝首脳会談を韓国と北朝鮮の軍事境界線がある板門店（パンムンジョム）で開催することについて「可能性を検討している。興味深い」と意欲を示した。

ホワイトハウスで行われたナイジェリアのブハリ大統領との共同記者会見で語った。

トランプ氏は「DMZ（非武装地帯）にある（韓国側施設の）『平和の家』や『自由の家』で開催する可能性を話し合っている」と述べ、「今日このアイデアを投げた。私はこの考え方が好きだ」と明かした。

さらに、「私は文在寅（ムンジェイン）大統領にも話した。文大統領を通して北朝鮮にも伝わるだろう」とした上で、「この場所（板門店）で成功すれば、非常に大きな祝典になるだろう」と指摘した。

半面、「ある人はこの考えを嫌い、ある人は非常に好感している」と述べ、「シンガポールを含め、別の国も検討している」と付け加えた。

トランプ氏は三十日朝、自身のツイッターで「平和の家」などでの開催に前向きな姿勢を示していた。

健やかであれ

両口屋是清

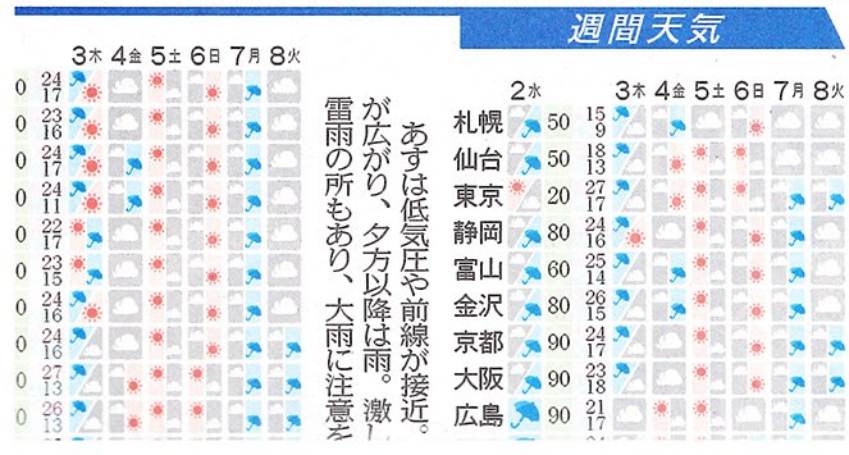
夕歩道

労働者の日としてのメーデーは一八八六年五月一日、シカゴで一心に全米の労働者が起こしたストライキに始まる。銃による弾圧中、労働者がいわば命懸けでつくったものが八時間労働制だった。

当時は、まだ十二～十四時間働がまかり通っていた。で、掲られたスローガンが「仕事に八間、休息に八時間、自分のために八時間」。メーデーの原点は、まり、労働時間の短縮にある。

欧米ほど短縮が進まぬ日本の働時間の行方やいかに。怪しげな労働時間データの真相も明らかならぬまま、腕力任せで働き方案の審議入り。こんな調子で間労働問題の本質に迫れるか。

週間天気



あすは低気圧や前線が接近。が広がり、夕方以降は雨。激し雷雨の所もあり、大雨に注意を

CHUNICHI Web
www.chunichi.co.jp
中日新聞購読申し込みは